

## 扉 の 言 葉

中京大学文化科学研究所  
所長 江 川 卓

中京大学文化科学研究所は設立後四年を経過し、ほぼ準備段階を終えましたので、当初の計画通り一九八九年度から『文化科学研究』を出版していくことになりました。これと平行して『文化フォーラム』が出版されますが、前者は論文・調査報告・研究資料を中心とする研究紀要、後者は公開討論会の記録を編集したものです。

ここにお目にかけるのは、調査資料シリーズの第Ⅰ集で、「名古屋圏の劇場調査中間報告」です。本研究所の安藤隆之、栗倉宏子、酒井正志の3氏の担当で1987年度から行われてきた調査の概要です。調査は現状、施設、設備などのハードの面と、各劇場の設立事情、運用、上演演目などのソフト面にわたり、関係者のインタビューなども盛り込まれています。現在、調査対象を東海三県に広げ第2次の抽出調査が進行中ですが、来年度に予定されている劇団調査と併せていずれ総合的に分析され、名古屋圏の劇場運動が立体的に明らかにされるでしょう。

次号にもやはり調査報告「身体文化形成と教師指導論」が発表されますが、本研究所では当初より地域研究や現代文化への学問的アプローチを設立趣旨に掲げています。児童文化や現代宗教分野に置いても資料収集が進められており、その成果もいずれ発表されることでしょう。どうか末永く見守って下さいますようお願いいたします。

(1989 年秋)